

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業			
事業名	N響室内合奏団倉吉演奏会					
目的・内容	<p>クラシック初心者から愛好家まで幅広い鑑賞者層をターゲットとして、演奏水準の高い本格的な演奏会を実施する。中高生が入場しやすい価格設定による、若い世代の芸術鑑賞体験の機会提供をも、併せて目的とする。</p> <p>【使命】「文化芸術活動の発信と交流」「県民へのサービス推進」 【事業企画の柱】新規鑑賞者の掘り起こし 【内容】N響ソロ・コンサートマスター堀正文氏率いる弦楽合奏団</p>					
開催日時	平成20年1月12日(土) 16:00開演					
会場	倉吉未来中心 大ホール					
入場料・参加費 (友の会)	S席 5,500円 (5,000円)	A席4,000円 (3,500円)	B席2,000円	フューチャーズシート 800円		
集客状況	入場者数	909名	設定席数	1497席	集客率 60.7%	
事業費状況	予算額	収入	4,636,000円	支出	6,156,000円	収支比率 75%
	決算額	収入	3,890,700円	支出	5,600,652円	収支比率 69%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりにウルウルしました。最後の冬の章では涙があふれてとまらない。 ・さすがに一流N響トッププロの演奏です。音が交わり響いています。 ・「こんな美しい音が地球に存在するのだ」と思い感動しました。 ・はじめてのクラシックコンサートでした。身体が揺れてしまう感覚で聴かせて頂きました。 ・久々のクラシックコンサートでした。G線上のアリアで涙がでました。至福のひとつでした。 ・観客のマナー、楽章間の拍手。マナーガイドはあったが読まない人もいる。何か妙案はないか。 					
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中高生からはじめて鑑賞したという熟年層まで、新しい鑑賞者の来場が実感できた。 ②バロック～古典派～初期ロマン派～現代各時代の名曲が本格的に全曲演奏され、初めてでも充分楽しめた。 ③土曜日の夕方前の開始で、岩美町～境港市まで全県に渡って鑑賞者が来られていた。 <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①楽章間の拍手が立て続けに起こるなど、通常のクラシックの雰囲気とは違ってしまった。 ②せっかくの演奏水準の高さには、選曲がポピュラー過ぎるとの意見があった。 ③県内ばかりをターゲットにしていたが、真庭市や津山市からの鑑賞者も。岡山県北も販促すべきであった。 ④年末年始を挟んで直後の演奏会ということがあり、販促やチケットの売れ行きに影響した。 					
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①合奏、独奏双方が楽しめた。ユース席や無料送迎バスも良かった。 ②県民がクラシック音楽に親しむのに適した曲目選定であった。 ③直前まで広報を行った成果で、室内合奏団での900人の入場は、よく入ったと思われる。 <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①愛好家の年齢層も上がってきていて、団塊世代以上の世代も取り込みたい。 ②クラシック公演では、コンチェルト+オーケストラ、といったように編成に変化をもたせる趣向が必要である。 					
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の大型鑑賞事業は出来るだけ避ける。 ・少人数の編成でも、新しい鑑賞者開発ができるよう、プログラムを工夫する。 ・倉吉の地域性を考慮し、県内のみならず岡山県北にも販売促進の努力を行う。 					

